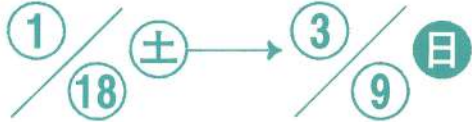


2014



# 東京ステーションギャラリー

開館時間 | 10:00~18:00 ※金曜日は20:00まで開館 ※入館は閉館の30分前まで 休館日 | 毎週月曜日

入館料 | 一般900円 高校・大学生700円 小・中学生400円

※20名以上の団体は100円引き / 障がい者手帳所持の方は100円引き、その介添者1名は無料

主催 | 東京ステーションギャラリー [公益財団法人東日本鉄道文化財団]、朝日新聞社、ブリティッシュ・カウンシル

協賛 | 野崎印刷紙業 後援 | 大和日英基金 協力 | 日本航空



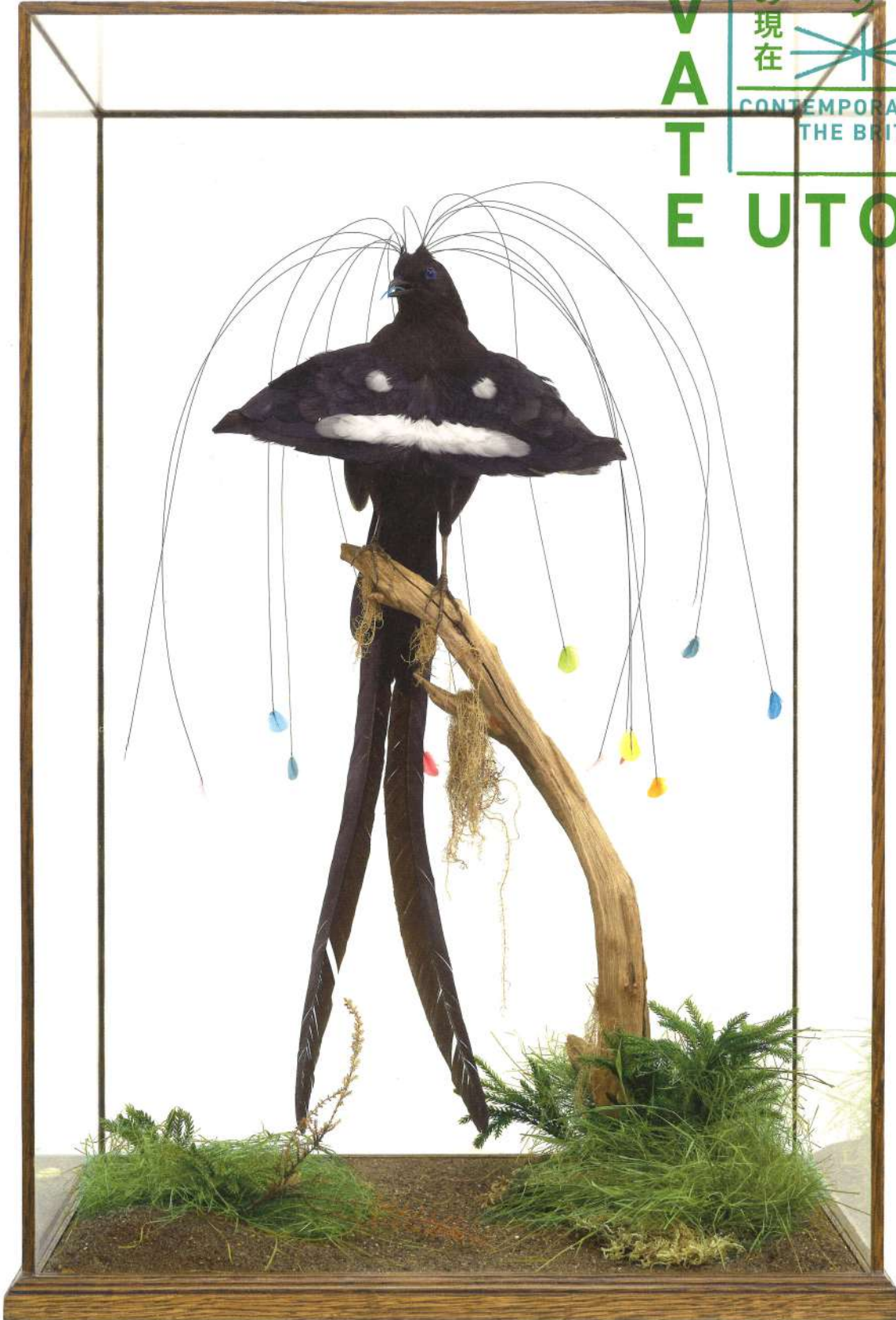
# プライベート・ユートピア

## ここだけの場所

PRIV  
ATE  
UTOPIA

ブリティッシュ・  
カウンシル・  
コレクション  
にみる  
英国美術の現在

CONTEMPORARY ART FROM  
THE BRITISH COUNCIL  
COLLECTION



ライアン・ガンダー 《四代目エガートン男爵の16枚の羽毛がついた極楽鳥》2010年 © Ryan Gander. Courtesy of the Artist





制度に支配された時代や、物質があふれ返る時代を経て、今われわれは「私」(private)の時代を生きています。それは単なる個の時代ではなく、その個が表向きには閉ざされた空間の中でそれぞれに成熟し、現代の技術がそれらを細胞のように結び付け、自ずとルールを生成しながら、その価値観を全人類と共有している、そんな世界です。もはや公も私もなく、ここにしかない場所であると同時に、どこにでも繋がっている世界—「ユートピア」(utopia)に生きているといってもいいでしょう。このような時代のなか、美術においても、些細な日用品を応用した作品や、ふとした視点の転換で、すぐそばにありながら知り得なかった世界へと誘ってくれる作品が1990年代から多く制作されるようになりました。本展は、こうした美術の動向を、英国の多彩な現代アーティストによる作品でご覧いただくものです。1990年代から活躍し続ける、ピーター・ドイグ、サラ・ルーカス、ギャリー・ヒューム、若手のライアン・ガンダーやハルーン・ミルザ、昨年のターナー賞を受賞したエリザベス・プライス、今年同賞にノミネートされたデイヴィッド・シュリグリーまで、約30名のアーティストによる、絵画、写真、映像、立体など約120点を、英国の公的な国際文化交流機関、ブリティッシュ・カウンシルのコレクションから選りすぐって紹介します。

# プライベート・ユートピア

PRIVAT E UTOPIA

ここだけの場所

ブリティッシュ・カウンシル・コレクション  
英国美術の現在

CONTEMPORARY ART FROM THE BRITISH COUNCIL COLLECTION

## 出品予定アーティスト

- アンナ・バリボール Anna Barriball
- ジェイク & ディノス・チャップマン Jake and Dinos Chapman
- アダム・チョズコ Adam Chodzko
- マーカス・コーツ Marcus Coates
- マーティン・クリード Martin Creed
- ジェレミー・デラー Jeremy Deller
- ピーター・ドイグ Peter Doig
- トレイシー・エミン Tracey Emin
- ライアン・ガンダー Ryan Gander
- エド・ホール Ed Hall
- ロジャー・ハイオンズ Roger Hiorns
- ギャリー・ヒューム Gary Hume
- ジム・ランビー Jim Lambie
- ローラ・ランカスター Laura Lancaster
- サラ・ルーカス Sarah Lucas
- ハルーン・ミルザ Haroon Mirza
- マイク・ネルソン Mike Nelson
- ポール・ノーブル Paul Noble
- コーネリア・パーカー Cornelia Parker
- グレイソン・ペリー Grayson Perry
- エリザベス・プライス Elizabeth Price
- ジョージ・ショウ George Shaw
- デイヴィッド・シュリグリー David Shrigley
- サイモン・スターリング Simon Starling
- ウッド & ハリソン Wood & Harrison
- ケリス・ウィン・エヴァンス Cerith Wyn Evans
- トビー・ジエグラー Toby Ziegler



## 関連イベント Events

### 1 エリザベス・プライスによるトークショー

日時 | 1/25(土) 18:40~20:00 (18:30開場)  
 場所 | 2F展示室  
 定員 | 先着60名  
 ※参加無料  
 ※逐次通訳つき  
 ※閉館後のイベントのため、展覧会の自由観覧およびミュージアムショップの利用はできません

### 2 アフターシックス・プログラム/英会話で鑑賞会!

ブリティッシュ・カウンシル英会話スクールの英国人講師と一緒に、「こんな気持ち、英語でどう表現するの?」「この形は何で言えるの?」など、展示作品2,3点について、英語で会話をしながら楽しく鑑賞します。講座は全て英語で行います。作品解説を聞く会ではありません。  
 日時 | 2/13(木)、2/20(木)、2/27(木) 18:30~20:30  
 定員 | 各回16名  
 ※参加費1,000円  
 ※1/18(土)以降、1F受付で参加費を添えてお申込みください(開館~閉館30分前まで)  
 ※定員になり次第受付終了(最低催行人数に満たない場合は中止する場合があります)  
 ※閉館後のイベントのため、展覧会の自由観覧およびミュージアムショップの利用はできません

### 3 ギャラリー・トーク

担当学委員による展覧会解説  
 日時 | 1/22(水)、1/29(水)、2/12(水) 15:00~(約30分) ※3F展示室集合  
 ※参加無料(要別途入館料)  
 ※1/22はブリティッシュ・カウンシルの学委員が解説します(逐次通訳つき)  
 ※混雑時には中止することがあります

### 4 フレンドリー・トーク

レンガが特徴的な当館のたてもの解説  
 日時 | 2/21(金)、2/28(金) 18:30~(約15分) ※1Fエントランス集合  
 定員 | 先着15名  
 ※当日17:00から1F受付にてお申込み下さい  
 ※参加無料(要別途入館料)

次回展  
 洋画家たちの青春  
 -白馬会から光風会へ-  
 3/21(金・祝)~5/6(火・祝)

- 1 マーカス・コーツ《エビガラスズメ蝶、エビガラスズメ蝶の幼虫、シェーピング・フォームによる自画像》2013年 ©The Artist, Courtesy of the Artist and Workplace Gallery, UK
- 2 マイク・ネルソン《ブラック・アート・バーベキュー、サン・アントニオ、1961年8月》1998年 Courtesy 303 Gallery, New York; Galleria Franco Noero, Turin; Matt's Gallery, London; and neuengernecht, Berlin ©The Artist
- 3 グレイソン・ペリー《ベニアン人の村》2001年 Courtesy the Artist and Victoria Miro, London ©Grayson Perry
- 4 ウッド&ハリソン《テーブルと椅子》2001年 Courtesy of the Artists and Conrath/Fischer, London ©The Artists
- 5 エリザベス・プライス《1979年、ウールワースのクワイア》2012年 Courtesy of the Artist and MOTTINTERNATIONAL London and Brussels ©Elizabeth Price ※ブリティッシュ・カウンシル館ではありません
- 6 ジョージ・ショウ《灰の水曜日:午後3時》2004-5年 ©The Artist
- 7 エド・ホール《ブリティッシュ・カウンシル・コレクション・パター(コンテンポラリー・アート・バージョン)》2012年 ©Ed Hall
- 8 ギャリー・ヒューム《シスター・トゥルーブ》から《無題》2009年 ©Gary Hume and Paragon | Contemporary Editions Ltd



東京ステーションギャラリー  
 TOKYO STATION GALLERY

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1  
 Tel. 03-3212-2485 <http://www.ejrcf.or.jp/gallery/>  
 交通: JR東京駅 丸の内北口 改札前